

関係者からのメッセージ

子どものころやことばの育ちを応援します

ことばが遅い、一人遊びが多い、意志の疎通が上手くいかない、かんしゃくがひどい、偏食に困っているなど、子どものことで心配なことがあれば、些細なことでとためらわずに、相談して安心しましょう。この冊子の相談機関を参考にしてください。

日常生活の中での関わり方について、少しだけご紹介します。

子どもの体に触れて、添い寝をしましょう。

寝る前に、お布団の中で絵本を読んであげるのもお勧めです。親の体の暖かさを感じながら、体を通して伝わってくる声に安心して眠るようになります。寝る時は、テレビを消して静かな時間を過ごしましょう。

子どもが見ているものについて親も一緒に見て、ことばかけをしましょう。

子どもが見ているものと、親が話すことばの意味が一致することが大切です。そうしながら、親が子どもの気持ちに添っていくようにすると、ことばが育っていきます。

児童発達支援センター香川こだま学園 高橋 伴子

仲間がいます！ 大丈夫です！ 前に向かってコツコツと歩みましょう！

障がいは、個性です。本人の本質を見極め、できること、好きなことを拡げてあげましょう。しかし、全面受容は危険です。『わがまま』になってしまうと、人から嫌われてしまいます。

『どんな障がいがあっても、誰からも愛される人に成長してほしい。』

これが、切実な願いです。

本人にとって、一番の良き理解者は親です。そして、良き療育者も親です。

「物事の善悪」をわきまえ、他人に迷惑をかけない大人になり、10年後、20年後の人生設計を描き、共に豊かな生活ができるように日々、丁寧に関わり、寄り添い、支援を継続しましょう。

周囲には、素敵な支援者、関係者も身近にいらっしゃいます。助けを借りながら、親が元気でゆとりを持って、楽しく付き合っていきましょう。

障害者支援施設 ウインドヒル 松原 正子

■「障がい」の表記について

「障害」の「害」という漢字の否定的なイメージを考慮するとともに、差別感や不快感をもつ人が少しでもいる限り、その気持ちを尊重していく必要があると考え、「がい」をひらがなで表記することとしました。なお、法律で定められた用語等については、混乱を避けるため漢字表記としています。

発行／高松市健康福祉局 福祉事務所障がい福祉課
連絡先／〒760-8571 高松市番町一丁目8番15号
TEL:087-839-2333 FAX:087-821-0086
メール／syoufuku@city.takamatsu.lg.jp
URL／<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp>
監修／坂井 聡(香川大学教育学部教授)

平成27年3月発行